

「北海道犯罪被害者等支援フォーラム」を開催しました

環境生活部くらし安全局道民生活課

犯罪被害者等に対する適切な支援や配慮により、犯罪被害者等の尊厳が守られる社会づくりを推進するため、「北海道犯罪被害者等支援フォーラム」を旭川市で開催しました。

テーマは「被害者も加害者も生まない社会づくりに向けて」です。

性暴力被害者支援に焦点を当ててお二人の講師に講演いただき、被害者の置かれた状況や心情に理解を深めるとともに、被害にあわれた方がもう一度自分らしい人生を歩むために、そして、被害者も加害者も生まない社会をつくるために、今私たちにできることを考えました。

日時 平成26年11月5日(水) 13:30~16:20

場所 旭川市大雪クリスタルホール

主催 北海道、北海道警察、北海道教育委員会、(公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター、旭川地方法務局、北海道人権擁護委員連合会、北北海道人権啓発活動ネットワーク協議会

後援 北海道市長会、北海道町村会、北海道被害者支援連絡協議会

参加者 80名



○講演 「性暴力被害者への理解と支援のために」

北海道教育大学大学院教授 佐藤 由佳利 氏

臨床心理士の資格を有し、スクールカウンセラーとして子どもの心理的支援に携わっているご経験も踏まえ、被害者は心的外傷後ストレス障害(P T S D)を発症したり、「自分に落ち度があった。自分が悪かった」という自責の念に悩まされることが多いこと、保護者による性的虐待では、子どもは我慢以外の手段をもてなくなることなどを分かりやすく講演いただきました。

そして、被害者の心身の回復のためには、被害直後に相談できるよう、普段から周囲がサポーターであることや、支援体制の充実が必要であると訴えました。

○講演 「性暴力被害当事者として、加害者を生まない社会を目指す」

おやこひろば桜梅桃李代表 柳谷 和美 氏

ワークを通じて性暴力被害を訴えることがいかに難しいかを参加者も実感した後、ご自身の被害経験やその後の心情を語っていただきました。暴力の連鎖を断ち切るためには親へのケアが必要と考えて活動していることや、性暴力被害当事者による「サバイバルサロンぶれぜん」との被害者支援の活動など、時折笑いを誘いながら、参加者の心に響く講演を行っていただきました。



参加者の感想(抜粋)

- 専門的な知識を得ることができ、大変参考になりました。
- 教育現場で知っていれば正しく対応できる学びができたので、また機会があれば話を聞いてみたいと思いました。
- 性被害が魂の殺人ということを強く感じた。乗り越えることがどれだけ大変か、ということを考えさせられた。
- 被害に遭われた方の気持ちを理解することは、とても難しいですが、想像することはできると思います。その想像の大きな支えになる内容で大変勉強になりました。

道では引き続き、犯罪被害者等の尊厳が守られる社会づくりの推進に努めていきます。